

第二主日礼拝 【第一部】 午前 9:00-10:00  
【第二部】 午前 11:00-12:00  
(第二部は YouTube 同時配信)

前奏・黙祷

招 詞 詩篇 9 篇 8-10 節 (旧約 940)

賛 美 われらの罪とが背負い給う主に (インマヌエル 140)

交 読 詩篇 93 篇 1-5 節 (旧約 1032)

主の祈り・使徒信条

聖書朗読 ルカの福音書 18 章 9-14 節 (新約 155)

牧者公祷 (換気を行います)

説 教 『義と認められて』

松井元始牧師

応答のとき

賛 美 御前にひれ伏す (インマヌエル 503)

頌 栄 父・御子・御霊の (インマヌエル 7)

祝 祷

後奏・黙祷

\* \* \*

報 告

【献金は週報に添付の封筒を用いて、入口の献金かごにお入れください】

〈司会〉 〈奏楽〉 〈受付〉 〈聖書朗読〉 〈感謝祈祷〉

【第 1 部】 松井師

【第 2 部】 松井師

配信をご覧になれない方には CD を後日お届けできます。お申し出ください。

インマヌエル王子キリスト教会

牧師: 松井元始・牧子

〒114-0023 東京都北区滝野川 1-41-6 Tel 03-3910-4529

HomePage: <https://igm-ouji-church.jimdo.com/>

E-mail: [immanuelojichurch@gmail.com](mailto:immanuelojichurch@gmail.com)

銀行振込: みずほ銀行 王子支店 普通 1364893



『義と認められて』 (ルカの福音書 18 章 9-14 節) 2022.11.13.

〈はじめに〉 「自分は正しい」という自覚が、時に社会や人間関係に様々な現象を生む一因ともなっています。ならば正しいと主張しない(できない)方がいいのでしょうか。この物語は「正(義)しい」がテーマで、正しい人物が出てきます。

I パリサイ人の祈り(11-12)

① その人物像

彼は生活の中で避けていたこと、取り組んでいたことがあります。人に流されることなく、道徳的、社会的、宗教的に正しく生きていました。それは周囲からもはっきりわかります。パリサイ人はその代表です。

② 彼の祈り

彼は宮のどの辺りに立って祈っていたのでしょうか。彼は心の中で祈ったのですが、イエスはそれを明かされます。その祈りは、誰に向けて、何のためにささげたのでしょうか。

③ その評価(14)

イエスは、義と認められたのはパリサイ人ではない、と明言されます。このことにパリサイ人は気づいているのでしょうか。正(義)しいと認めるのは神です。なのにパリサイ人は、自分自身が正しいと確信し、祈りを通してそれを神に主張し、認めさせようとしていたのです。

II 取税人の祈り(13)

① 取税人

税は「取られる」と感じます。当時、ユダヤ社会はローマ帝国の植民地で、税もローマに吸い上げられ、同胞から税を集める取税人は罪人呼ばわりされていました(19:7)。

② その祈り

取税人はどこから「遠く離れて立」っていたのでしょうか。「目を天に向けようともせず、自分の胸をたたいたのは何故でしょうか。彼の祈りから、彼がどんなことを意識していたと分かるでしょうか。「あわれんでください」とは別訳では「お赦してください」とも記されています。

③ その評価(14)

彼が罪の赦しを神に祈り求めたのは、神は罪を赦す方だと捉えていたからです(詩篇 32:5、130:4)。イエスはこの取税人が「義と認められて家に帰った」と言われます。それを彼は自覚できたのでしょうか。詩篇 32:5-7 にはどう書いてあるのでしょうか。

III 私たちが祈るのは

① 正しさの基準に照らすため

人の世では正しさが混迷・対立しています。人は正しさを主張しますが、その基準となり得ません。公正なのは神のみです。私たちは神の御前に進み出て、神が正しいと認めてくださるか否かを探り、吟味するために祈っているのでしょうか(箴言 21:2)。

② 正しい者とされるため

神の御前に自分を探ると、過ち・罪を見出すでしょう。神は罪過ちに気付かせると同時に、それを赦し、そこから救い出そうと働き掛けてくださいます。その招きを受け入れた者を、神は義と認められ、いのちを与えられます(ロマ 5:18)

③ 自分を低くする

自虐的に自分を低く見ることはありません。そう決めつけているのも自分であって、根はパリサイ人と同じ高ぶりを抱えています。自分を低くする者を至高なる神の前にへりくだります。神はへりくだる者に恵みを与え、正しい者へと引き上げられます。

〈おわりに〉 正しい人は悪い人を見下しがちです。そこに危惧を感じてイエスはこのたとえ話を語られました。イエスは心の中の思いを読み取られます。祈るから正しいのではなく、正しい者へと造り変えてくださるようにと祈るのです。(H.M.)